

牧之原市御前崎市 広域施設組合について



問 環境保全センターの方向性について

答 環境保全センターは平成4年の稼働から22年目に入り、標準耐用年数15年を大幅に過ぎています。現在、年間約2億円をかけて維持管理に努めています。

問 更新の期間として、7〜10年が必要となるので、早急に首長同士の

話し合いが必要ではないか

答 牧之原市長との話し合いを早急にさせていただき、その内容について組合議事に諮り、市議会の力を借りる中で一つの方向性を出していきたいと思っております。

施設を更新するには、行政区などのような枠組みで行うか、施設の規模、機能、建設場所の選定や用地取得など様々な課題があります。また生活環境影響調査などの手続きもあり、一定の年数が必要です。現時点では、広域で計画するのか、市単独で実施するのか、また委託の方法をとるのか、方向性は出ていません。



環境保全センター

原子力発電所の再稼働について 消費税増税について 病院問題について



問 汚染水問題、使用済燃料及び再稼働についての考えは

答 汚染水問題では、国が指導を行い、目に見える形で対策を進めて欲しいと念願しております。原子炉内の使用済燃料はしっかり管理されており、今後管理を続けることが義務であること理解しております。今は再稼働を論じる前に、原子力発電というエネルギー源がエネルギー基本計画にどのような形で盛り込まれるか、安全性はどのよ

うな評価を受けるのかを注視していきたいと考えます。

問 消費税増税による生活保護受給者、低所得者への対応をどう考えるか

答 政府は消費税増税に伴う低所得者対策として臨時福祉給付金制度を設け、生活保護受給者には生活扶助基準の改定を行うことを想定しています。市では国の制度を的確かつ確実に実施し、生活弱者対策を継続してまいりたいと考えています。



問 医師不足、救急搬送などの病院問題に対し、現状と今後の方向性は

答 内科と外科については医師不足が顕著です。中東地域を中心とした広域的な医療体制を構築するために、関係自治体及び近隣病院との機能連携強化をしていく必要があると考えています。

議員視察研修

議会広報特別委員会

(平成25年11月7日)

視察先及び視察内容

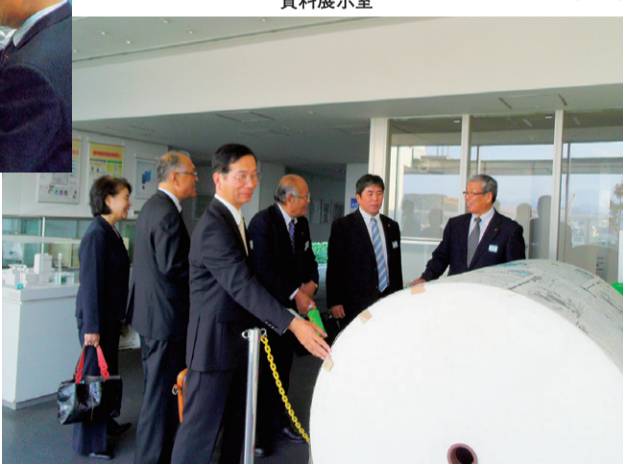
○株式会社静岡新聞社(静岡市駿河区)

市民に親しまれる議会だよりの紙面づくりについて調査・研究を行う目的で、株式会社静岡新聞社を訪問しました。新聞の編集の様子を視察し、編集担当者と紙面づくりの構成やレイアウトなどについて意見交換をし、次のようなアドバイスをいただきました。

- ・議案の詳細説明を載せる。
- ・市民の関心ある議案を強調する。
- ・困り文で強調する。
- ・コラムを活用する。



会議風景



資料展示室

文教厚生委員会

(平成25年11月11日〜13日)

視察先及び視察内容

○大仙市立太田南小学校(秋田県大仙市)

御前崎市の学力向上の目的で、全国学力テスト1位の秋田県のうち、特色ある「コラボ・スクール構想による人材育成」について取り組んでいる大仙市立太田南小学校を視察しました。

コラボ・スクールとは、学校・地域社会・家庭・教育委員会などの行政機関や高等教育機関などと連携、協働をキーワードに学校づくりを行い、児童の育成を推進することです。

特に、各授業で必ず行われる確認テストによる児童の理解度把握、家庭学習ノートでの振り返り、夏休みなどの休業期間における地域有志(高校生、大学生を含む)による学習支援に注目しました。



説明を受ける委員の様子

